

令和5年度子育てサポーターズフォーラム (京都府地域サポーター育成事業) 開催!

令和5年11月28日(火)南丹市八木市民センター(iスタやぎ)において、子育てサポーターズフォーラム(京都府地域サポーター育成事業)を開催しました。

南丹管内の幼稚園から高等学校までのPTAや学校運営協議会委員等、学校教育関係者や地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター等)、社会教育関係者など、様々な立場で南丹地区の子育てに関わっていただいている方々約45名の参加がありました。

子どもの健全育成に向けては、地域と学校が連携・協働し、社会総がかりで子どもを包み込むことが大切です。当日は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するためにグループワークや講演を通して、奈良県CSアドバイザーの新谷 明美様から学びました。

グループワークでは、いろいろな職種の方が混じり、「あいさつ」をテーマにミニ熟議を体験しました。「多様性」「平等性」「共感力」という熟議のポイントを参加者が意識して臨み、熟議の意義を感じることができました。講演では、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」「地域学校協働活動」等の内容を整理し、「子どものために何ができるか」について共有することの大切さを具体例を挙げながらお話いただきました。



◆ テーマ 「“子どものために”できることをみんなで考えよう
～地域と学校の円滑な連携・協働を目指して～」

◆ 内容

- ・グループワーク:ミニ熟議体験
- ・講演「地域とともにある学校」とは

◇ 講師 奈良県CSアドバイザー

奈良市富雄中学校区地域教育協議会 総合コーディネーター
新谷 明美様

南丹教育局では、南丹地域の市町教育委員会や幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の取組を支援するとともに、地域ならではの教育振興に取り組んでいます。

ぜひ、ホームページをご覧ください!!

南丹教育局ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局



参加の皆様からの感想

- ★ 実際にグループワークを体験しながら熟議について学ぶことは、話を聞くだけよりも理解しやすいと思った。同じグループのメンバーが共感的に話を聞ける状態であったので、自分が話しやすいと感じた。地域の方と教職員が熟議するときに、この関係性を築くことがすごく大切だと実感した。
- ★ 元気のでるワークショップだった。やることが明確でテンポがよく、今後実践できそうなことであった。参加者のみなさんが多様で、学び合うことができ、とてもよかった。いろいろな意見を受け入れ、共感し、一つのものをつくり出す楽しさを味わえた。
- ★ 子どもも大人も少人数で顔を合わせて、短い時間で話し合う場は、お互いの心の距離が近くなって気持ちでつながる大切な時間だと改めて感じました。



職種の違う方々の考えを聞き合うことは大変貴重です。



話し合いで出たキーワードを付箋に書き、グルーピングしました。



“子どものためにできること”をみんなで共有することが大切です。

コーディネーターは、地域と学校をつなぐパイプ役！

○学校運営協議会とは…

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

○コミュニティ・スクールとは…

学校運営協議会が設置された学校＝コミュニティ・スクールです。

○地域学校協働活動とは…

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

目指すべきは“協働”

- ★ 地域学校協働活動が支援と違う点についてとてもわかりやすく説明していただき、よく理解できた。それが「楽しい」というところに最後につながったことがとてもうれしく、これからの活動が楽しみになりました。
- ★ 地域の方に来てもらい、子どもたちが地域の方からも互いに学びを得られるようにしていくことが大切であると思いました。目的をもって様々な活動をしていけるようにしていきたいと思います。
- ★ 協働の在り方について学校と地域との意識のもち方について相互に話し合いをすることの大切さを理解できました。